

愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）

（E C I 方式）

評価の結果

2020年7月

愛 知 県

1 事業の概要

ジブリパーク整備は、スタジオジブリのアニメーション作品の世界観を表現する建物や造形物、風景をいかに本物として作りこむかが大きな課題であり、設計会社の行う実施設計のみでは、質感や素材感などについて、予め最適な仕様を確定することが困難な工事である。

このため、ECI方式を活用することにより、実施設計の段階から施工者（建設会社）が有する専門的な知見や特別な施工技術・ノウハウを「技術協力」として設計に反映させて、最適な仕様を確定するとともに、工事着手後の手戻りのリスク低減や建設コストの縮減、工事期間の最大化を図っていくこととした。

2022年秋に開業予定の「青春の丘エリア」、「ジブリの大倉庫エリア」、「どんどこ森エリア」の3エリアの実施設計にあたっては、昨年度、愛知県事業として初めてECI方式を採用し最適な仕様を確定のうえ、今月、本体工事に着手した。

3エリアの開業のおおむね1年後に開業予定の「もののけの里エリア」、「魔女の谷エリア」の2エリアの実施設計についても、ECI方式を採用し最適な仕様を確定のうえ、来年度からの本体工事の着手をめざし事業進捗を図っていく。

2 優先交渉権者選定の経緯

- ・2020年3月13日 愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）に関する
提案書等評価委員会（第1回）開催
【議事：ECI方式の適用可否、募集要項及び評価基準の内容】
- ・2020年3月25日 公募プロポーザル方式による募集公告
- ・2020年4月 2日 プロポーザル手続きに関する説明会開催（コロナウイルス感染症予防の為中止）
- ・2020年4月10日 プロポーザル手続きに関する質問回答の公表（1者から12件の質問あり）
- ・2020年5月27日 参加書類の提出期限（1者受付）
- ・2020年6月 9日 現地見学会の開催（参加表明をした1者が参加）
- ・2020年6月19日 基本設計相当資料の貸出期限
- ・2020年6月24日 提案書提出に係る質問回答の公表（1者から17件の質問あり）
- ・2020年6月30日 提案書提出期限（1者から提出あり）
- ・2020年7月17日 愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）に関する
提案書等評価委員会（第2回）開催
【議事：提案内容に関するヒアリング、提案書の評価】
- ・2020年7月20日 評価委員会の意見を受けて、優先交渉権者を決定

3 審査結果

愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）に関する提案書等評価委員会（第2回）において、1者からの提案書類について、ヒアリングを行い、詳細な質疑を行うなど、技術協力業務評価基準に基づき慎重な審査が行われた。

【評価ポイント】

- 「業務理解度等」では、E C I方式の理解度、E C I方式をジブリパーク整備に採用した目的、E C I方式のメリットを最大限に生かしたコストマネジメントの考え方や方法、コスト管理上重要となる工事費積算の妥当性の検証や透明性の確保について提案を求めた。
- 「具体的な業務内容」では、ジブリ作品の世界観を忠実に表現するための施工体制や配置技術者の実績、技術協力方法についての提案、国内外の伝統的な工法の経験や実績を踏まえて実施設計に技術協力を行うノウハウや方法、ハウルの城を忠実に表現するため作品表現と乖離が発生した場合の解決方法、施設の長期耐久性やメンテナンス性の確保、既存の動植物と共存していくためのノウハウや方法、植栽基盤整備計画を施工する際の土工事中の排水計画等の環境配慮に関する事、ジブリパーク3エリアの工事を始め複数の工事が並行することを踏まえた工事間調整、動線計画、施工ヤード等の調整方法などについて具体的な提案を求めた。
- 「地域経済への配慮」では、県産資材の活用や雇用の創出など、この地域への貢献策について幅広く提案を求めた。
- 「V E提案」では、V E提案の視点、体制、進め方及びV Eに関する有資格者状況について記載を求めた。

【評価結果】

評価項目	評価基準	提案者
		A者
実施体制 類似業務実績 (5点)	公共事業における技術提案・交渉方式の受託実績や、過去10年間のC工事との調整を有した工事の実績	5.00
社会的取組 (5点)	環境配慮の事業活動、障害者等の就業支援、男女共同参画社会の形成等への取組	4.00
業務理解度等 (35点)	業務の理解度	29.75
	実施設計期間中におけるコストマネジメントに対する考え方とその方法	
	工事費積算の妥当性、透明性の確保に関する考え方	
具体的な業務内容 (38点)	ジブリ作品の世界観を忠実に表現するための施工体制や配置技術者の実績、技術協力方法	34.15
	国内外の伝統的な工法の経験や実績を踏まえて実施設計に技術協力を行うノウハウ・方法、ハウルの城を忠実に表現するため作品表現と乖離が発生した場合の解決方法、施設の長期耐久性やメンテナンス性の確保	
	既存の動植物と共存していくためのノウハウや方法、植栽基盤整備計画を施工する際の土工事中の排水計画等の環境配慮に関する事	
	第1期開業エリアの工事始め複数の工事が並行することを踏まえ、各工事間の調整、動線計画や工事ヤード等の調整方法	
地域経済への配慮 (7点)	県産資材の活用など地域経済への貢献	6.13
VE提案 (10点)	VE提案の視点、体制、進め方及びVEに関する有資格者状況	8.25
総合得点 (100点)		87.28

(※) 最終的な評価結果は、後日、愛・地球博記念公園設計技術協力業務（その2）に関する提案書等評価委員会より「審査講評」として、愛知県政策企画局ジブリパーク推進課のウェブページで発表します。

4 優先交渉権者の選定

県は、提案書等評価委員会（第2回）における審査結果を受けて、A者を交渉権者として選定した。

優先交渉権者 鹿島建設株式会社 中部支店

以上